

d&b ArrayCalc V10 リリース ノート

d&b ArrayCalc シミュレーションソフトウェアは、d&b ラインアレイ、コラム、ポイントソースラウドスピーカーとサブウーファアのシミュレーションツールです。このソフトウェアは、音響設計、性能予測、アライメント、リギングと安全係数などに関連する全てのタスクに及び非常に広範囲なツールボックスです。

対応するオペレーティングシステム

Windows: Win7 以降

MacOS: 10.7 以降

V10.6.13

バグ修正:

- 誤ったプロファイル図が修正されました。
- シングルのアレイをペアのアレイに変更するときに両方のハングに適用されるファンクショングループ設定が修正されました。

06/2019

V10.6.12

バグ修正:

- Q Flying Adapter の誤ったピックアップ値が修正されました。
- パーツリストのサマリータブに表示されている追加のアンプグループのスピーカーの数の誤りが修正されました。
- キャビネットをドラッグアンドドロップし、ソースグループ内のキャビネットの数を減らすとクラッシュしてしまう不具合が修正されました。
- xS/xA シリーズのパーツナンバーが更新されました。
- 異なる形状を持つロックされたベニューエレメントの複数選択の位置が変更可能であることが修正されました。
- ロックされたベニューエレメントのタイプが変更可能であることが修正されました。
- 自動的に生成されたアンプチャンネル名は、チャンネルが DS10 にパッチされたときにインポートナンバーではなくキャビネットナンバーを使用するようになりました。
- 同じアンプチャンネル上のリンクされていないキャビネットに関するソースグループのインポートの不具合が修正されました。
- Ci80 のリンクキャビネットの最大数は 4 台に修正されました。
- ホリゾンタルエイミングに関するポイントソースの対称線が更新されない不具合が修正されました。
- Tab キーを使用して、複数選択の入力フィールドを異なる値で切り替えると、選択したすべてのエレメントの既存の値が引き継がれなくなります。
- C3 に対応しない 10D の未使用の 2 ウェイアクティブチャンネルが修正されました。
- SUB アレイのアライメント図のプレーン断面に沿っていないテストポイントに関する不具合が修正されました。
- TI385 の 5.8 項の図の J-SUB の欠落している曲線が追加されました。
- 最大までズームアウトした後に、Venue エディタを再度ズームインすると発生する不具合が修正されました。
- ソースグループの選択を変更したときに、ポイントソースグループの誤ったキャビネットのデータが表示される不具合が修正されました。
- 「Configure amplifiers」を使用すると、アンプの名前も再作成されるようになりました。

06/2019

V10.6.9

機能拡張:

- B8-SUB に対応しました。

バグ修正:

- R1 リモートビューのディスプレイコントロールのターゲットとして D20/D80/10D/30D の「Digital input lock」プロパティを追加しました。
- グループに割り当てられたディスプレイコントロールは、読みやすいコンテンツ表示になりました。
- 大きなグループノードの削除による R1 のフリーズが引き起こされなくなりました。
- マトリクスクロスポイントコントロールでは、幅と高さのパラメータを変更できなくなりました。それに代わり、実際の幅と高さは入力と出力の数に基づいて計算されます。
- グループビューの「Highlight channels」ボタンは選択の種類をチェックするようになりました。
- デバイスビュー閲覧中の予期せぬ CPU への高負荷を修正しました。
- プロジェクトファイルが Mac OS 上の iCloud や DropBox などのネットワーク共有にある場合、意図しない「Project file changed」という通知が表示されなくなりました。
- AutoCreate ダイアログ内のチェックボックスが MacOS Mojave において表示されるようになりました。
- MacOS Mojave を使用している場合、デバイスビューでアンブチャンネルを選択したままでのビューの切り替えが再度有効になりました。
- MacOS Mojave においてデバイスビューでの DS100 コーディネートマッピングエントリの切り替えが再度有効になりました。
- MacOS Mojave においてダブルクリックを使ったプロジェクトファイルのロードを改善しました。

04/2019

V10.6.6

バグ修正:

- ダブルクリックまたは「Open with」を使って MacOS でプロジェクトを開くとクラッシュしてしまう不具合を修正しました。
- クラウドにファイルを保存すると別のアプリケーションによって使用されていますと誤った警告がされる不具合を修正されました。
- 新しく追加された SUB アレイの相対ディレイ値が誤ったデフォルト値となってしまう不具合を修正しました。
- プロジェクト名にアンパサンド (&) が含まれている場合の Dante コントローラーへのエクスポートに発生する不具合を修正しました。

03/2019

V10.6.4

バグ修正:

- プロジェクトのロード中のスナップショットエントリを読み取る際にクラッシュしてしまう不具合を修正しました。
- ポイントソースグループ内のスピーカータイプを変更した後にスピーカータイプフィールドが縮小されてしまう不具合を修正しました。
- +/-ボタンは、ポイントソースグループの入力フィールドと正しく揃うようになりました。
- Sources、Alignment、3D plot の切り替え時にドックの高さが変わってしまう場合がある不具合を修正しました。

02/2019

V10.6.3

機能拡張:

- SUB アレイでの SL-SUB の縦置きに対応しました。
- GSL 及び KSL のレーザー傾斜計のビームが表示されるようになりました。
- リギングコメント欄を追加しました。

- プロジェクトファイルの保存を改善しました。
- 新たなオプションとしてマウスホイールを使ったズーム方向に関する設定を追加しました。
- 新たなオプションとしてダイアグラムの回転に関する設定を追加しました。

注:

- Windows で ArrayCalc V10 をインストールする際に、デスクトップにショートカットが作成されなくなりました。

バグ修正:

- 同じプロジェクトを R1 と ArrayCalc で同時に使用している際に誤って上書きされないよう、ロックメカニズムが追加されました。(R1 V3.6.0 以上が必要)

02/2019

V10.4.7

バグ修正:

- Compression mode で Hoist の値を変更した際に Compression load limit が更新されない不具合を修正しました。
- ソースグループにリンクされたキャビネットが含まれていると R1 で間違ったスピーカータイプが表示される不具合を修正しました。
- キャビネットの数を減らしたり、リンクされたスピーカーが含まれるソースグループのリモート ID を変更した後にプロジェクトを保存するとクラッシュしてしまう不具合を修正しました。
- 西アラビア数字のシステムを使用していないコンピュータで、このシステムを使用して作成されたプロジェクトを開く際に、意図しないパスワードの入力を求められなくなりました。
- キャビネットをドラッグ&ドロップで並べ替えて、リンクしようとした際に発生する不具合を修正しました。
- アレイソースをインポートまたはペーストする際に、Level over Distance ダイアグラムが正しく更新されるようになりました。
- C-Series のラウドスピーカーを使用しているプロジェクトを R1 にロードする際にスナップショットに不整合が発生する不具合を修正しました。

01/2019

V10.4.4

バグ修正:

- KSL データ (重量、重心、コンプレッションおよびテンションリギングモード両方のためのオフセット) を更新しました。
- KSL スタックオプションは KSL カートが未対応のため一時的に無効になっています。
- Venue: Quadrangular プレーンの頂点の編集に関する不具合を修正しました。
- SUB アレイの印刷プレビューおよび印刷出力に関して 3dB ごとの分割のテキストが欠落してしまう不具合を修正しました。
- 異なる比率または異なるスケーリング設定のさまざまな画面を使用する際の表示に関する不具合を修正しました。
- 古い ArrayCalc のバージョンから .dbac プロジェクトファイルを読み込む際の不具合を修正しました。

12/2018

V10.4.3

バグ修正:

- アレイを分割し、左ハングのデータを右にコピーした後にクラッシュしてしまう不具合を修正しました。
- プロジェクトにスピーカーシステムが選択されていないアレイが含まれている場合に、.dbac (旧プロジェクトファイル形式) プロジェクトを開く際にクラッシュしてしまう不具合を修正しました。

- スタックアレイの最下部のボックスが無効なスプレイングルのドロップダウンとなる不具合を修正しました。
- HCD フィルタがアクティブな Mixed SUB アレイを含むプロジェクトを読み込む際の不具合を修正しました。
- ArrayProcessing の対称性の警告に関する不具合を修正しました。
- ArrayProcessing を無効にした後、リンクが動作しない不具合を修正しました。
- ArrayProcessing ダイアログの空欄の温度ドロップダウンに関する不具合を修正しました。
- シンメトリーリンクがアクティブになっている間にアンプを設定するオプションを使用すると発生する不具合を修正しました。Configure amplifiers はチャンネル A で始まり、シンメトリーリンクがアクティブになりました。
- リンクされたキャビネットを含むポイントソースグループの相対ディレイの増加の誤りを修正しました。
- Cuboid が Venue ビューダイアグラムの可視領域の外側に配置されたときに、Cuboid に代わりおかしな丸形が描画される不具合を修正しました。
- Super elliptic のリスニングプレーンの P1/P2 の座標を変化させる高い曲率の値に関する不具合を修正しました。
- Configure patch オプションを実行した後、Devices ビューで DS10 のレシーバ・チャンネル名の更新がされない不具合を修正しました。
- ポイントソースグループの M4 モニター用 D20 アンプの選択に関する不具合を修正しました。
- D12 アンプの Mix TOP/SUB 出力モードの選択を 2 回アクティブにする必要がなくなりました。

11/2018

V10.4.1

機能拡張:

- KSL ラウドスピーカーに対応しました。
- GSL および KSL ラウドスピーカーの Compression ok サインの色（緑色）が更新されました。
- ポイントソースグループ、SUB アレイ、およびアディショナルアンプグループの対称ペアリンクが可能になりました。
- ソースグループとソースの許容数が増加しました：40 アレイ、各最大 50 台のラウドスピーカーを備える 30 のポイントソースグループ、20 のアディショナルアンプグループ。
- ArrayCalc の起動は、現在のプロジェクトで使用されているスピーカーの音響データだけを読み込むことによりスピードアップしました。
- Venue ビューの Early reflections エリアのマークアップが改善されました。
- アレイの複数選択に対する ArrayProcessing の有効化と無効化が可能になりました。
- Details ビューに折りたたみオプションが追加されました。
- DS100 EnScene および EnSpace のライセンス設定が、ArrayCalc でも編集可能になりました。

バグ修正:

- 無効な CAN サブネットを含むプロジェクトをロードするとクラッシュしてしまう不具合を修正しました。
- ラウドスピーカータイプを変更しても、対応していないリンクが発生しなくなりました。
- ピックポイントの変更時の不必要な SPL の再計算が修正されました。
- ストア時のアライメントテストポイントの座標の不具合を修正しました。
- Venue エレメントのカラーピッカーの透過オプションが削除されました。
- 特定のアンプの出力モード設定が異なる設定になってしまう不具合を修正しました。
- ArrayCalc は R1 から EnScene または EnSpace 設定を上書きしないようにな

りました。

- Level over distance ダイアグラムのプリントアウトの約 40m (130 フィート) の誤ったオフセットを修正しました。
- スタックされたアレイを 0 から 1 のラウドスピーカー数に変更した後、プロジェクトを正しく保存できるようになりました。
- フラットなキューボイドを適切に編集し複製できるようになりました。
- SUB アレイのアライメントテストポイントがリスニングプレーンから離れてしまう不具合を修正しました。
- アライメントビューのテストポイントが、それぞれのリスニングプレーンのリスナーの高さに正しく設定されない不具合を修正しました。
- MacOS の別のアプリケーション (R1 など) が行ったファイルの変更に關するメッセージが間違えて引き起こされる不具合を修正しました。

10/2018

V10.2.5

バグ修正:

- 透明でない Obstacle を含む 3D プロットメモリーをプリントする際にクラッシュしてしまう不具合を修正しました。
- プリントまたは 3D plot を PNG にエクスポートする際のグレーエリアの不具合を修正しました。
- 3D plot ダイアグラム上の無効な SPL 計算の解像度及びポイントソースグループのマッピングダイアグラムの不具合を修正しました。
- レベルオーバーディスタンスダイアグラム及び 3D plot ダイアグラムで Q-Series の HFC 設定が考慮されない不具合を修正しました。
- プレーンの複数選択に対して選択解除がされない不具合を修正しました。
- プロジェクトを保存した後に複数選択したプレーンが意図せずシフトしてしまう不具合を修正しました。
- アレイビューと 3D plot ダイアグラムの V-, Y-, T-Series キャビネットの描画の不具合を修正しました。

07/2018

V10.2.4

バグ修正:

- ドラッグ&ドロップを使用して Source ビューのキャビネットを移動するとクラッシュしてしまう不具合を修正しました。
- Venue エlementグループを含むプロジェクトの 3D プロットを印刷またはエクスポートするときにクラッシュしてしまう不具合を修正しました。
- 永久に無効化されてしまう ArrayProcessing 機能を修正しました。
- Venue の Profile ビューの図の縮尺比率を正しく修正しました。
- CAN 範囲外の D12、D6 および E-PAC のリモート ID が可能な仕様を修正しました。
- Device ビューのスクロール時に列ヘッダーが正しく整列されない不具合を修正しました。
- 四角形以外のリスニングプレーンは、Early reflections エリアとして許可されなくなりました。
- ArrayProcessing ボタンは、準備計算を実行する必要がある場合に進捗状況を表示するようになりました。
- GSL アレイのシングルピックポイントの計算を正しく修正しました。
- .dbac2 プロジェクトをロードした後のファイルの保存に関する不具合を修正しました。
- 12S-SUB のリンクに関する不具合を修正しました。
- シングルの xA-Series アレイの HF 方向のドロップダウンメニューが表示されない不具合を修正しました。
- 3D plot ビューでの Live と Memory の図のプリントアウトの違いを修正しました。

- プロジェクトを保存して再読み込みした後にインポートされた Venue に関する不具合を修正しました。
- 四角形の Venue エレメントの複数選択の高さ(z)の設定に関する不具合を修正しました。

07/2018

V10.2.2

バグ修正:

- Compression 設定の GSL を含むプロジェクトファイルの保存に関する不具合を修正しました。
- Alignment ビューの SUB アレイのフェイズレスポンスの計算に関する不具合を修正しました。
- DEL キーで複数のプレーンを削除した後、undo 機能を使用するとクラッシュしてしまう不具合を修正しました。
- 3D plot クワッドビューを印刷または PNG 形式でエクスポートするとクラッシュしてしまう不具合を修正しました。
- 色選択ダイアログで、現在選択されている色も正しく表示されるようになりました。
- リンクされたキャビネットのチャンネル名の誤りを修正しました。
- Mac OS でキャビネットテーブルの各スプレイングルのドロップダウンメニューを使用した後にキャビネットが選択されない不具合を修正しました。
- ミックスおよびリンクされた SUB アレイに対してアンブオブションを正しく設定をできるようにしました。
- .dbpr ファイルのリンクされたボックスの SUB アレイの不具合を修正しました。
- Obstacle を含む .dbac ファイルを開く際の不具合を修正しました。
- y 軸方向の Obstacle の透過性の不具合を修正しました。
- Venue ビューの All elements リストでエレメントを個別に選択している際の複数選択ボタンを無効化しました。

06/2018

V10.2.0

機能拡張:

- Heritage ラウドスピーカーがポイントソースグループで利用可能になりました。
- ドラッグアンドドロップ、シフトキーを使用した複数選択、エレメントの基本的なシェイプの表示などの機能を追加し、Venue ビューの All elements list を改良しました。
- Venue ビューに個別のコメント欄を追加しました。
- Alignment ビューのテストポイントの選択画面にプロファイルビューを追加しました。
- プリファレンスでマウスホイールを使用してのドロップダウン項目の変更を無効化できるようにしました。
- ArrayProcessing が有効なアレイを複製すると、ArrayProcessing の設定も複製されるようになりました。
- DS100 デバイスの自動パッチオプションが追加されました。

バグ修正:

- Triangular プレーンが逆さまにミラーされる不具合を修正しました。
- 複製されたペアのアレイの左右のハングのスプレイ角が一致しない不具合を修正しました。

06/2018

V10.0.14

バグ修正:

- デバイスビューでポイントソースグループを選択するとクラッシュしてしまう不具合を修正しました。
- デレイ値を 0.3ms 未満または負の値に設定できないようになりました。
- .dbac ファイルとの下位互換性を修正しました。

05/2018

V10.0.13

バグ修正:

- リンクされたラウドスピーカーのレベルが増加してしまう不具合を修正しました。
- Venue エディターの Arc segment の P0 が移動できなくなる不具合を修正しました。
- Additional amplifier グループ内の E-PAC と CPL の不具合を修正しました。
- 3D plot をメモリーに保存するワークフローを最適化しました。
- .dbac2 プロジェクトファイルの読み込み後に 3D plot の解像度の値が失われなくなりました。
- Audio networking 機能を無効にした後に Audio networking devices が適切に削除されるようになりました。
- SUB アレイ内のリンクされたラウドスピーカーのトータルディレイが正しく復元されない不具合を修正しました。
- 相対編集を使用した際にロックされたプレーンが移動してしまう不具合を修正しました。
- Venue をインポートした際に追加した Venue エLEMENTの位置が間違っている不具合を修正しました。
- Structure タイプの Venue エLEMENTが常にトランスペアレントにならない不具合を修正しました。
- ポイントソースグループの切り替え時にシミュレートされたシグナルセレクションの周波数リストが正しく更新されない症状を修正しました。

05/2018

V10.0.12

バグ修正:

- ArraySight 機能を無効にした後にプロジェクトを保存するとクラッシュしてしまう現象を修正しました。
- ArraySight デバイスが関連するアレイを削除した後にプロジェクトから削除されない不具合を修正しました。
- 同じ Remote ID が ArraySight デバイスとアンプの両方に使用されている場合でもレポートされず、重複した Remote ID となる不具合を修正しました。
- Parts list で Y7P / Y10P が V7P / V10P としてリストされる不具合を修正しました。
- リンクされたラウドスピーカーのレベルが増加してしまう不具合を修正しました。
- ArrayCalc ビューアーファイル (.dbev) の Remote ID が欠落してしまう症状を修正しました。
- デフォルトで Air absorption が有効になっている新たなプロジェクトを作成したときに HFC スイッチが無効になる不具合を修正しました。
- ファイル名にウムラウトを使用しエクスポートされた Dante コントローラーのプリセットファイルに発生する不具合を修正しました。
- CUT を有効にしたポイントソースグループを複製することによって発生する不具合を修正しました。
- 複数のプレーンが選択された状態でロックオプションを変更するときに絶対値編集になる不具合を修正しました。

04/2018

V10.0.11

バグ修正:

- リンクされたキャビネットを含むアレイのキャビネットの数を減らす際、またはリンクされたキャビネットを含むペアのアレイをシングルのアレイに変換する際にクラッシュしてしまう現象を修正しました。
- ソースグループを含まないプロジェクトで ArraySight オプションを有効/無効にした際にクラッシュしてしまう現象を修正しました。
- ソースグループの名前を変更した後にアンプの名前が更新されない不具合を修正しました。
- チャンネルのリンクを解除した際に入力モードが更新されない不具合を修正しました。
- アレイのキャビネットのリンクを解除した際に入力ソースの更新がされない不具合を修正しました。

04/2018

X10.0.10 Beta

バグ修正:

- ファンクショングループの名前フィールドをクリックした際にクラッシュしてしまう現象を修正しました。
- DS10 を最初に選択せずに DS100 を選択した際にクラッシュしてしまう現象を修正しました。
- サブアレイの位置ごとのキャビネット数を減らした際にクラッシュしてしまう現象を修正しました。
- サブシステムをリンクされた B4-SUB から V-SUB に変更する際にクラッシュしてしまう現象を修正しました。
- 保存して再読み込みした後に Dante チャンネルのパッチを喪失してしまう不具合を修正しました。

03/2018

X10.0.9 Beta

バグ修正:

- プロジェクト内にリンクキャビネットを設定し、かつ複製されたポイントソースグループを保存する際にクラッシュする現象を修正しました。
- 特定のプロジェクトで“Configure amplifiers”を使用する際にクラッシュする現象を修正しました。
- リンクキャビネットを設定したソースグループを読み込んだプロジェクトにインポートする際に生じる不具合を修正しました。
- DS100 のチャンネルをリネームする際に生じる不具合を修正しました。
- ポイントソースグループの入力ソースの組み合わせ (例 1+2) の選択が正しく表示されない不具合を修正しました。
- ArrayCalc viewer ファイルが正常にエクスポートされない不具合を修正しました。

02/2018

X10.0.6 Beta

機能拡張:

- 空気吸音の計算/補填の湿度設定範囲がより幅広く、また細かく設定できるようになりました。

バグ修正:

- SUB アレイ構成時に mixed SUB でリンク設定し、“Hop”モードで使用する構成を含んだプロジェクトをロードする際にクラッシュしてしまう問題を修正しました。
- ポイントソースグループにおいて、J-SUB と INFRA スイッチが有効になってしまいクラッシュする事象でこれらを E-Series に変更することで修正しました。
- SUB アレイのコピーやインポートに関連する不具合を修正しました。

- キーボードとの相互関係が無かった Devices view/ Cabinets 表にボタンを追加しました。
- Additional amplifier グループのスナップショットに無効な値が設定される不具合を修正しました。
- Additional amplifier グループのスナップショットに誤ったミュートが設定される不具合を修正しました。
- 3D プロットのメモリスロットにシミュレーション信号の記載がされていない不具合を修正しました。
- 入力パッチの確認時にリンク入力設定に生じる不具合を修正しました。
- プロジェクトファイルを再読み込みした際に、リンク設定されたスタックアレイキャビネットのレベルが正しく設定されない不具合を修正しました。
- すでにパッチが設定されている DS10 または DS100 で出力パッチを設定すると以前のパッチが消失してしまう不具合を修正しました。
- 特定のアレイ/Venue 設定において、AutoSplay が予期せぬ挙動を示す不具合を修正しました。
- Venue の表内の "Name" コラムの幅を広げました。
- Venue の triangular で設定したリスニングプレーンで耳の高さ設定が抜けていた不具合を修正しました。

01/2018

X10.0.4 Beta

バグ修正:

- 1 箇所あたり 1 台以上のキャビネットを設定した SUB Array のポジション数を増加させていくとクラッシュしてしまう現象を修正しました。
- ArrayCalc Help: ポイントソースの信号選択と SPL 合算メソッド部分のスクリーンショットが違っている部分を修正しました。
- リンクキャビネットに設定した際にディレイとレベルがプロジェクトの読み込み時にリセットされてしまう不具合を修正しました。
- テーブル内での Tab キーのナビゲーションの不具合を修正しました。

12/2017

X10.0.3 Beta

バグ修正:

- ポイントソースの数を増加させるとクラッシュする事象を修正しました。
- いくつかのソースをオーディオネットワークにアサインした後に削除し、プロジェクトを保存しようとするクラッシュする事象を修正しました。
- プロジェクトファイルから D6/D12 の入力ソースをロードする際に起きる問題を修正しました。
- プロジェクトファイルからリンク設定されたポイントソースの回転角度をロードする際に起きる問題を修正しました。
- 大型のスナップショットやシステム設定を含むプロジェクトファイルを保存する際に起きる問題を修正しました。
- リモート ID が重複する不具合を修正しました。
- スナップショットの削除に確認ダイアログが表示されない不具合を修正しました。

12/2017

X10.0.1 Beta

機能拡張:

- ArrayCalc V10 と R1 V3 が新しく統合されたプロジェクトファイルフォーマット(.dbpr)をサポートしました。この新しいプロジェクトファイルフォーマットは、ArrayCalc V10 と R1 どちらでも読み込みと保存が可能です。

注意: ArrayCalc V10 で .dbac2 プロジェクトファイルを読み込むことができますが、保存はできません。2017年12月のソフトウェアニュースレターに推奨される移行ワークフローが記載されていますのでそちらを参照ください。

- En-Scene と En-Space ソフトウェアと DS100 シグナルエンジンを含む d&b Soundscape システムをサポートしました。
- Venue エレメント入力に新しく三角形での入力が可能になりました。同時に Arc 型のエレメント入力の形状も長円に改良されました。
- 新しい Venue タイプとなり、形状に関わらず変更が可能になりました。
- Venue エレメントの Join/Split ができるようになりました。
- キャビネットの複数同時選択とドラッグ&ドロップが可能になりました。
- Source ビューでアンプ機種設定とリンク設定が可能になりました。
- ポイントソースグループに SUB も設定できるようになりました。
- プロジェクトで SUB アレイを使用しないときは、これを削除することが可能になりました。
- Alignment の上面図で、図のズームとパンが可能になりました。
- Rigging plot ビューの Required space 図の下にアレイの全体寸法が表示されるようになりました。
- Dante コントローラープリセットファイルを含む DS10, DS100 をサポートしました。

これらの新機能に関する詳細な情報は、2017 年 12 月度のソフトウェアニュースレターを参照ください。

12/2017